



福間ミニデイサービス「福寿会」昼食

問 福間地区で、地区の公民館を利用して、楽しい「寄り合いの場」づくりがある、と聞いているが、この経験を生かした対策をどう考えているか。

健康福祉課長

福間地区については、平成12年10月から、地域ふれあいミニデイサービスとして、高齢者、特に一人暮らしの高齢者等が、寝たきりにならないように、閉じこもり防止、孤独感、疎外感の解消を図ることを目的として、地区担当民生委員さん、地区出身の食生活改善推進委員さんの代表などが地元世話人として立ち上げがなされた。

この事業開始当初の6ヶ月間は、町、社会福祉協議会、民生委員、婦人会も事業に参加し、側面から協力をしていたが、高齢者の方々より、好評を受けたことから、福間地区では、平成13年4月からは、自主的に活動、運営されている。

現在では、会の名称も「福

寿会」と命名されている。参加された方々は地区の方々と昔話などをされ、1日楽しく過ごされており、福間地区については、地域による高齢者の居場所づくりが見事にできている。

このような福間地区での活動を参考として、本年度より立ち上げを予定している「ふれあい・いきいきサロン」のモデル地区についても、楽しく過ごせる場を提供し、仲間づくりや、社会参加を促進すること。

また、健康体操や血圧測定、栄養指導等を行い、健康づくりや介護予防を行う活動を実施していきたい。

問 障害を持つ方の社会参加の促進について伺う。

町長 本町では、本年3月に、平成21年度から23年度までの3年間を期間とする第2期大木町障害福祉計画を策定した。

この理念の柱である障害者の自立と社会参加のため

には、就労支援が重要だと考え、役場としても当然に取り組みべきだと考えている。役場における障害者雇用を促進する人材登録制度の状況については、働く意志を持つ障害のある方に、働く場の確保を図るために、4月号広報「おおき」に掲載し、大木町役場臨時職員(身体障害者対象)名簿登載者の募集を行ったところ、1名の方の名簿登載があつている。

問 おおき循環センター2期事業として整備予定である道の駅・農産物直売所等において、授産施設である白百合作業所のコーナー設置について伺う。

町長 白百合作業所の品を販売することについては可能と思う。

具体的なお話を受けていないので詳細についてはわからないが、要望があれば担当課と十分協議をさせていただきます。

併せて、健康体操や血圧測定、栄養指導等を行い、健康づくりや、介護予防のできるようなサロンにしたいと計画している。

この事業の推進については、社会福祉協議会が、事業主体として取り組むこととし

ているが、町も社会福祉協議会と連携して推進を図ることにしている。

モデル地区の計画箇所数については、平成21年度においては、町内に2箇所程度、モデル地区を立ち上げることを予定している。